

2004年7月21日

報道関係者 各位

福井豪雨被災地に歴史資料・文化遺産への注意を喚起する記事掲載のお願い

このたびの大水害で被災された大きな被害と、今も続く不自由な生活に対して、謹んでお見舞い申し上げます。また、昼夜を問わず情報発信に奮闘されている報道関係者の皆様に敬意を表します。

私たち、歴史資料ネットワーク（事務局・神戸大学文学部内）は、阪神・淡路大震災の被災地で、歴史資料をはじめとした文化遺産の救出・保全をおこなってきた歴史研究者を中心としたボランティア団体です。私たちは、1995年1月の震災時に、全国の歴史学会など関係団体から支援をうけて、自治体や市民と協力しながら、地域社会の民間資料の救出や文化財の被害調査などをおこなってきました。また、今日も引き続き被災地における文化遺産の保全・再生に取り組んでいます。

私たちがこの活動を始めたのは、博物館や図書館に収蔵されている史料や、国・自治体の指定文化財だけではなく、住民の生活空間の中にある歴史遺産が、地域史の復元にとって欠かせないという思いからでした。

阪神・淡路大震災における歴史資料・文化財の保全復旧活動は、少なくない成果をあげました。被害調査で新たに発見された史料も少なくありません。また、当初心配されていた被災住民の反感もほとんどなく、むしろ好意的な反応がほとんどでした。

しかし、その一方で、損壊建築物の解体の際に焼かれたり、道路復旧で撤去・破壊されたりした古文書や石造物なども多く、それまであった文化遺産の三分の二が、被災地域から消失してしまったという報告もあります。前例がなかったこともあり、活動の始動が地震発生から約1ヶ月後と、遅かったことが現在の反省点の一つとして挙げられています。

その反省をふまえ、2000年の鳥取県西部地震や2001年の芸予地震では、阪神・淡路大震災の経験を伝えるのみでなく、神戸市から被災地へ多くのボランティアを派遣し、地震直後から活動を開始しました。昨年7月に発生した宮城地震でも、現地で活動をすすめている歴史研究者や地元の市民の方々と連携し、支援のセンターとして全国からの募金のとりまとめやボランティア派遣の調整をおこないました。これらの活動を通じて、現地でいち早く、組織的な保全活動についての体制がとれるかどうか、その後の地域遺産保全をすすめる上で重要であることが明らかとなりました。

今回の福井水害の被災地も、歴史的環境の豊かな地域として知られています。収蔵施設に保管されているもの、文化財指定を受けているものの他にも、地域のあらゆる場所に、先人の営為を伝える歴史遺産、文化遺産が数多く存在するはずで、特に高齢者だけの家、空き家になっている家の場合、その可能性はより高くなります。**「役に立つと知っていたら捨てなかったのに」と叱られたこともしばしばありました。地域の中の歴史遺産を災害に**

よる滅失から守るためには、専門家やマスコミが早くから注意を喚起しなければならないというのが、阪神大震災の教訓の一つです。

今回の大水害を乗り越えて古文書・写真・日記・さまざまな個人や団体の文書や記録、民具・石造物など地域遺産が保全されれば、被災地域の社会や文化の復興に大きな力となります。これらが、水害のせいで姿を消してしまわないよう、関係者の方々にはご配慮いただきたくお願いいたします。

これまでの経験からすると、被害が小さくとも旧家の母屋や蔵のわずかな雨漏りなどが原因で撤去・建て替えがあり、その際存在を認識されていない近代や現代の史料、古文書などが頻りに廃棄される可能性があります。今回は、特に土砂災害や河川の氾濫、崖崩れによる災害が発生しており、**水や泥などにより歴史資料が濡れたり汚れたりして、一見すると廃棄処分せざるをえないかのように見えるかもしれません。しかしながら、そのような史料であっても、冷凍庫に入れるなどのフリーズドライの処置によって保全することも十分可能です**（詳細は、全史料協ホームページ「文書館防災対策の手引き」を参照。

URL は、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsai2/iinkai/bosaitebiki.html>）

わたしたちはすでに、地元関係者と連絡をとりながら、情報収集を進めています。阪神・淡路大震災の教訓を活かし、**災害から地域の歴史遺産を守るため、是非貴社にこの問題を取り上げていただくよう、お願い申し上げます。また、被災者の方々に歴史資料・文化遺産に類するものの保管について困難が生じた場合は、福井県文書館(電話 0776-33-8890)や歴史系の博物館に連絡をとられるよう、呼びかけて頂きたいと思います。**コメントや資料の提供など、取材には最大限の協力をさせていただきます。

鳥取県西部地震および宮城地震の際の活動に関する資料も F A X させていただきますので、ご参照ください。取り急ぎ、ファックスにてお願い申し上げます。なお、インターネット（下記アドレス）でも情報を掲載しておりますのでご参照ください。

2004年7月21日

歴史資料ネットワーク

代表 奥村 弘（神戸大学文学部助教授）

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学文学部内

TEL&FAX 078-803-5565

URL : <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/>

e-mail : s-net@lit.kobe-u.ac.jp